

セッション：『企業プレゼンテーション』

演 題：「病院向け」統合 WEB ソリューション CoMedix

演 者：豊永 寿晴

所 属：株式会社メディシステムソリューション

---

CoMedix (コメディックス) は、WEB ブラウザで動作する病院向けの統合情報システムです。現時点で実装している機能は、グループウェア、インシデントレポートシステム、病床管理、勤務シフトと勤怠管理、簡易電子カルテです。2004年から発売しており、各機能の累計では、200医療機関以上で利用されています。インシデントレポートは、「ファントルくん」という愛称で大学病院を含め50病院以上で導入されています。簡易電子カルテ機能は、「メドレポート」と呼んでいる機能ですが、診療記録とワークフロー機能を活用した電子伝票の運用をサポートしています。フルオーダーの対応をしていないこと、部門システムとのデータ接続については、標準的にはサポートしていないため簡易電子カルテと位置づけています。部門システムとデータ接続しないため、電子伝票として、部門の画面で受信することはできますが、部門システムへの入力では、二重入力が発生してしまいます。部門接続しないシステムに意味があるのかというご指摘もありますが、部門接続しないことで、システムの導入コストや、日々の接続トラブルの対処のための運用コストを大幅に削減することができます。投資コストを押さえつつ診療記録と伝票運用を効率化したいという病院様のニーズに対応した機能です。

技術的な特長は、PHP と Java スクリプト、Ajax の技術で開発しており、ActiveX や、FLASH を利用していないということです。したがって、IE ブラウザのみでなく、Firefox、Safari でも動作します。IE ブラウザも、5.5以上のバージョンで動作します。端末依存しないため、MAC や、iPad、iPhone でも利用することができます。実装している複数の業務機能は、物理的にひとつのデータベースでマスタを共有しておりますので、業務機能間のデータ連携はリアルタイムに行われます。

すでに、看護支援システムとして、iPad を利用して、病棟ラウンドを実施されている病院様もあります。ショルダーケースに入れて、肩から下げて利用できるため、従来のノート PC をナースカートに乗せて運用するスタイルをかえる事ができます。

これまで病院様への導入は、院内にサーバを導入して運用する形態でしたが、来年には、データセンターのサーバ上の CoMedix を各機能単位で、月額利用料として提供するクラウドサービスを開始する計画です。このサービスにより、サーバ運用を院内で行う体制を作りにくかった200床以下の民間病院様でも、投資コストを抑えつつ、安定運用を実現することが可能となります。

シンプルな構造で、グループウェアでの情報共有から勤怠管理、医療安全のためのインシデントレポート、そして、最終的には、電子カルテまでサポートする「病院版」統合 WEB システムにより、医療の IT 化を推進します。

---

会社 Home Page URL: <http://www.medi-system.co.jp/>